

25年10～12月期のユーロ圏の実質GDPは前期比+0.3%と底堅く推移



歐州経済

- 25年10～12月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.3%と、7～9月期と同じ伸びとなり、ユーロ圏経済が底堅く推移していることを示した。
- 企業の景況感は改善が足踏みしている。26年1月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は51.3と前月（51.5）から若干低下した。
- 物価は安定している。1月のユーロ圏消費者物価指数は前年比+1.7%と、前月の同+2.0%から伸びが鈍化した。一方、エネルギー・食品・アルコール・たばこを除くコア指数も同+2.2%と、前月の同+2.3%から伸びがやや鈍化した。
- 欧州中央銀行（ECB）は2月5日の政策理事会で、主要政策金利の中銀預金金利を2.0%に据え置くことを決定した。金利の据え置きは5会合連続。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客様ご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。



浜銀総合研究所

横浜銀行グループ

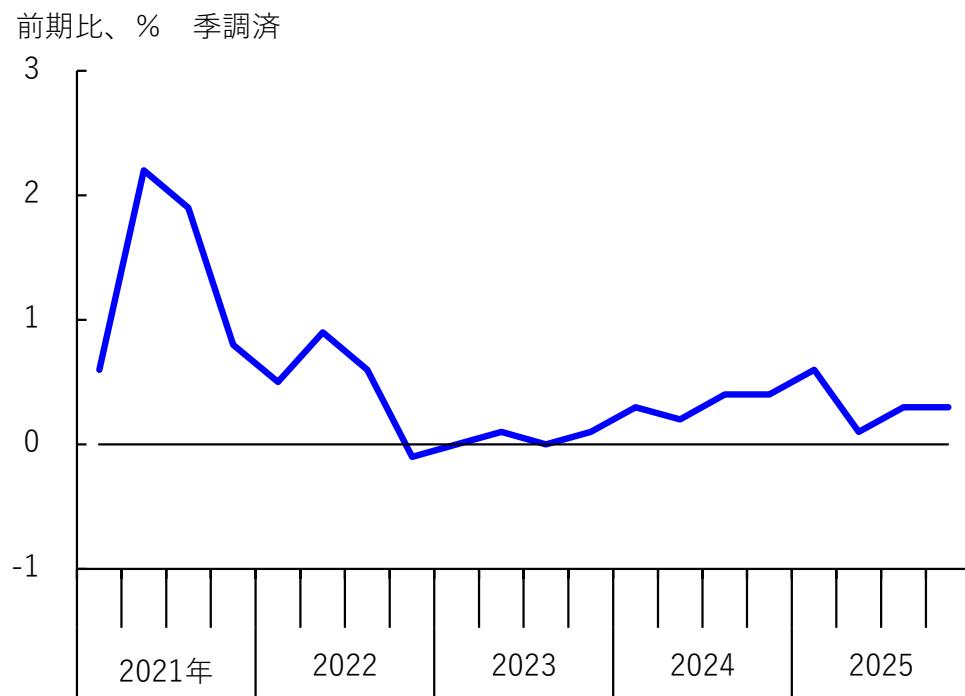
25年10～12月期の実質GDPは 前期比+0.3%と底堅く推移



GDP

- 25年10～12月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.3%と、7～9月期と同じ伸びとなり、ユーロ圏経済が底堅く推移していることを示した。
- 各国別では、スペインが前期比+0.8%と高めの伸びを維持した。また、ドイツは同+0.3%と7～9月期のゼロ成長から脱した。一方、フランス（同+0.2%）は前期に比べて減速した。

ユーロ圏実質GDP



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏主要国の実質GDP

	季調済、前期比、%			
	2025年	1-3月	4-6月	7-9月
ユーロ圏	0.6	0.1	0.3	0.3
ドイツ	0.4	▲ 0.2	0.0	0.3
フランス	0.1	0.3	0.5	0.2
イタリア	0.3	0.0	0.2	0.3
スペイン	0.5	0.7	0.6	0.8

注:2025年10～12月期は速報値。

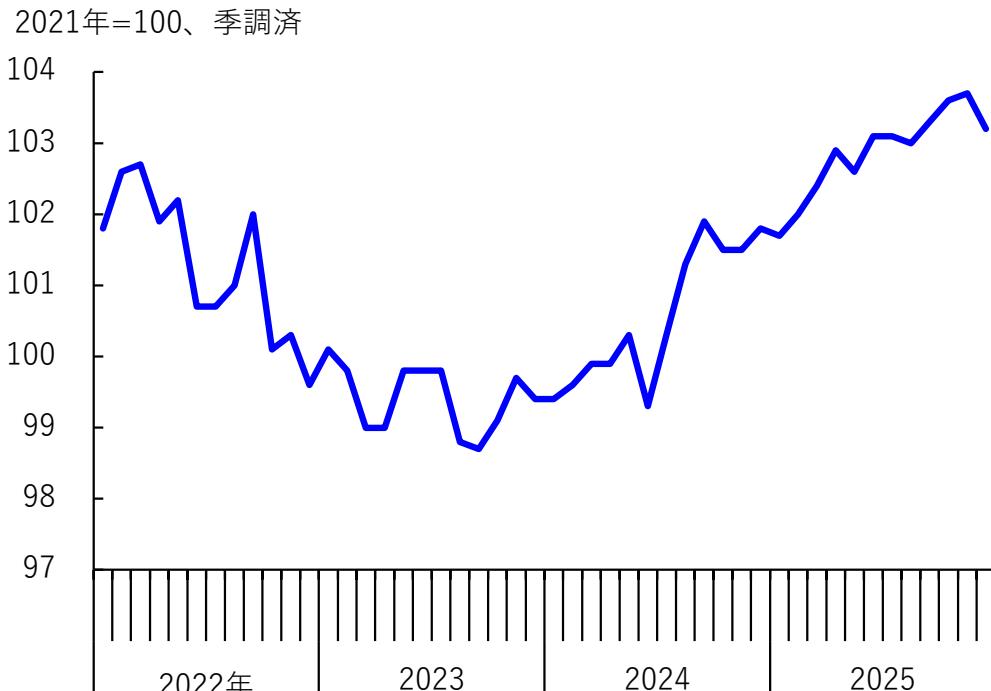
出所：欧州委員会統計局

10~12月期のユーロ圏小売 売上高指数は4期連続で上昇



- 個人消費は底堅く推移している。25年12月のユーロ圏小売売上高指数は前月比-0.5%と4か月ぶりに低下したものの、四半期ベースでみると10~12月期は前期比+0.4%と4期連続の上昇となった。
 - 12月は非食料品（除く自動車燃料）が前月比-1.2%と大幅な低下に転じた。一方、食品・飲料・たばこは同+0.1%と小幅ながら上昇。自動車燃料は同0.0%と2か月連続で横ばいとなった。
- 消費マインドは改善基調で推移。26年1月のユーロ圏消費者信頼感指数は-12.4と前月(-13.2)から上昇した。

ユーロ圏小売売上高指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数



出所：欧州委員会

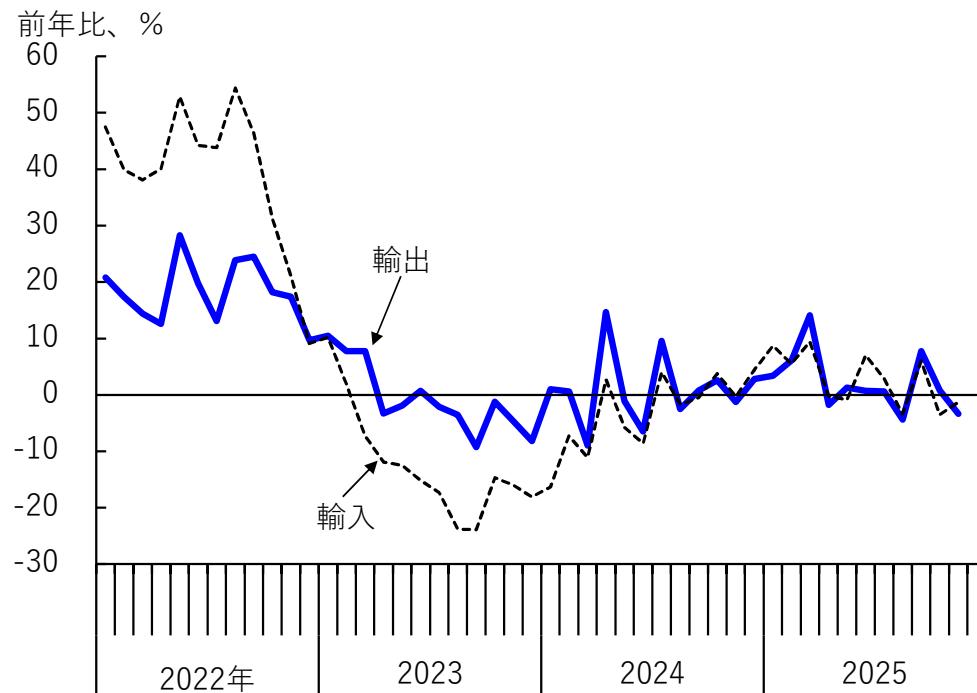
11月の財の輸出は3か月ぶりに減少



輸出・輸入

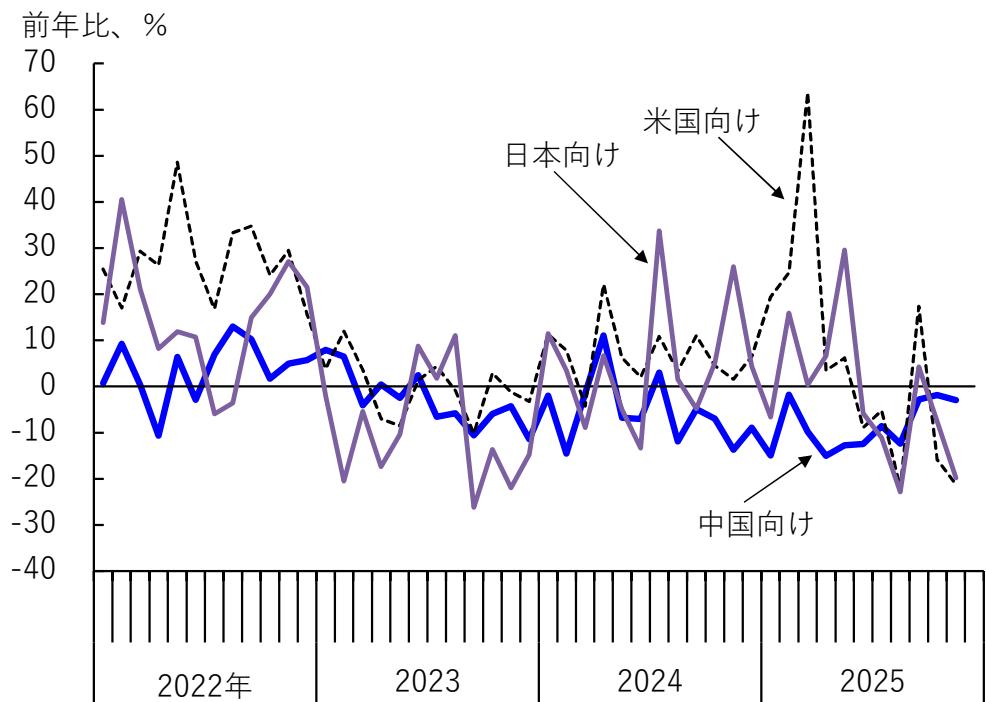
- 25年11月のユーロ圏の財の輸出（原数値）は前年比-3.4%と3か月ぶりに減少した。一方、財の輸入は同-1.3%と2か月連続で減少した。
 - なお、季調値でみると、11月は財の輸出が前月比+1.1%、また輸入も同+2.5%と、いずれも増加に転じた。
- 11月の財の輸出（原数値）を仕向け地別にみると、中国向け（前年比-3.0%）が16か月連続で前年水準割れとなった。また米国向け（同-21.2%）と日本向け（同-19.8%）がいずれも2か月連続で減少した。

ユーロ圏の財の輸出入



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏の仕向け地別の財輸出



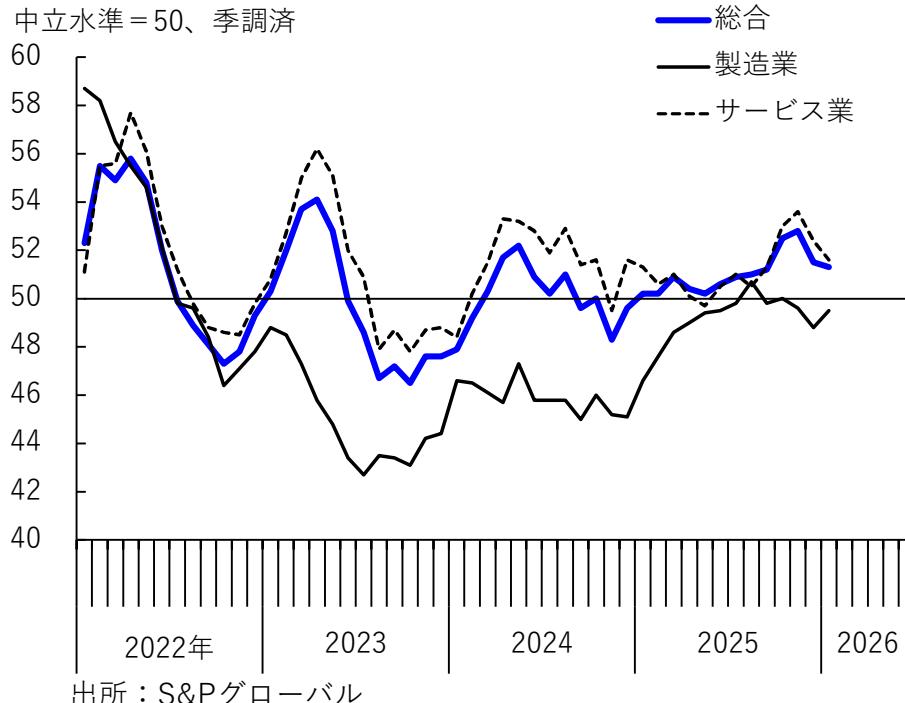
出所：欧州委員会統計局



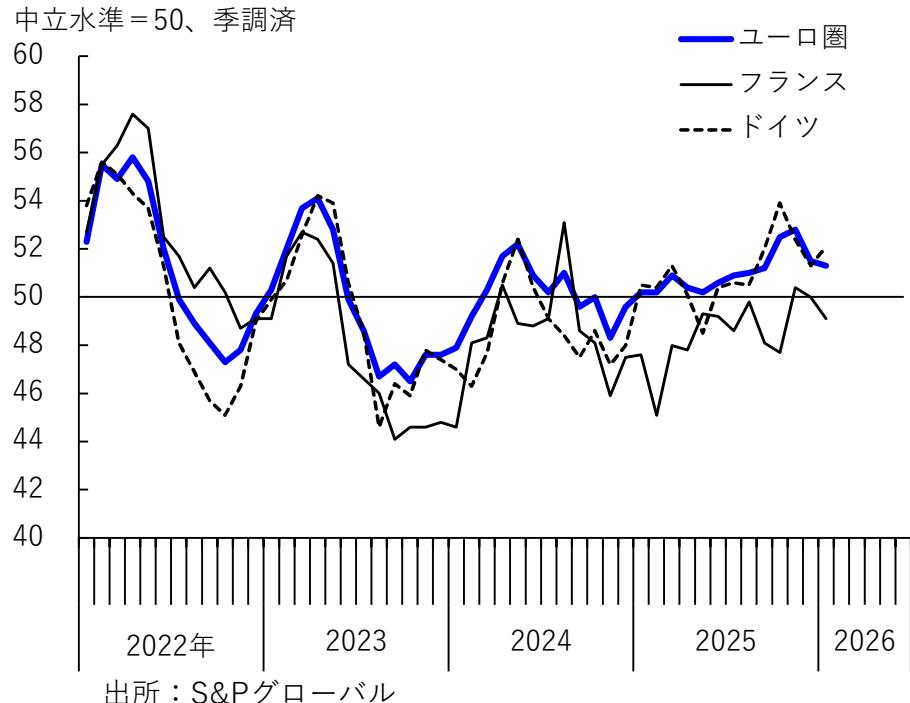
- 企業の景況感は改善が足踏みしている。26年1月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は51.3と前月（51.5）から若干低下した。
 - 業種別には、製造業が49.5（前月は48.8）と3か月ぶりに上昇する一方で、サービス業が51.6（前月は52.4）と2か月連続で低下した。
- 1月の各国別の総合PMIをみると、ドイツが52.1と前月（51.3）から上昇する一方で、フランスが49.1と前月（50.0）から低下した。

※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



主要国のHCOB総合PMI

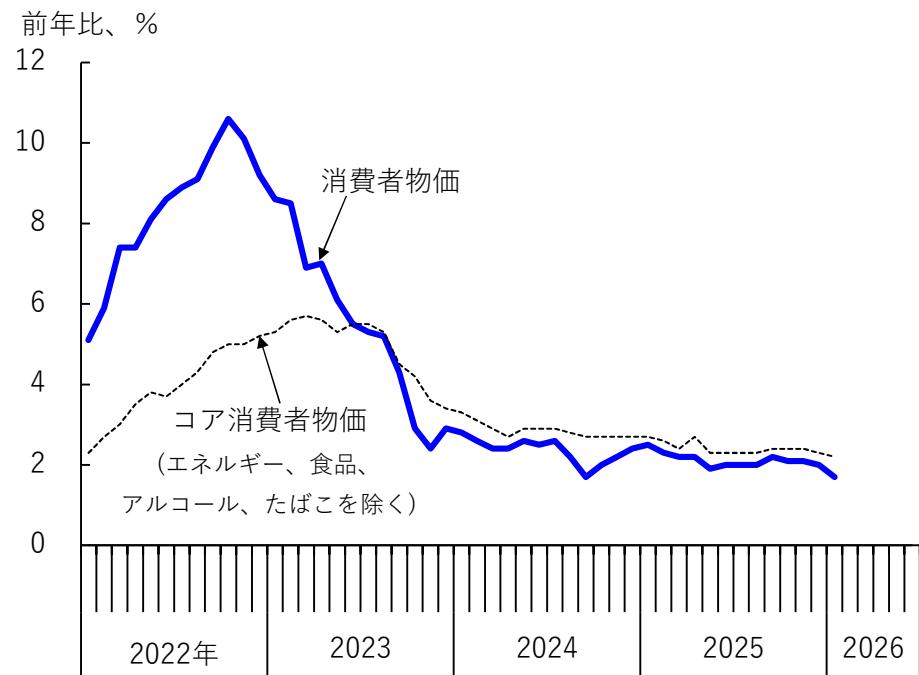


26年1月の消費者物価は前年比+1.7%と伸びが鈍化



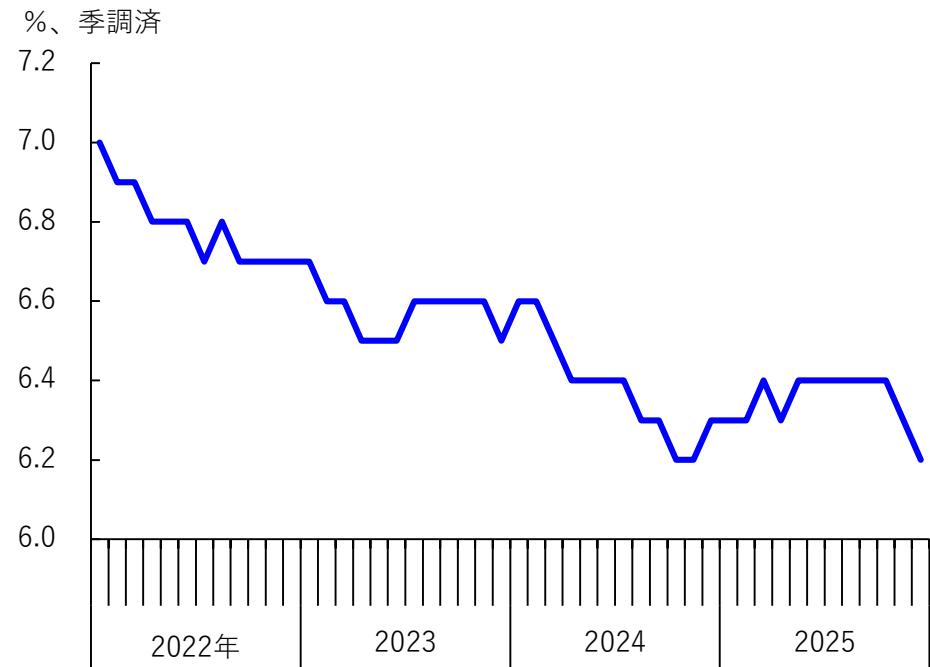
- 物価は安定している。26年1月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）は前年比+1.7%と、前月の同+2.0%から伸びが鈍化した。一方、エネルギー・食品・アルコール・たばこを除くコア指数も同+2.2%と、前月の同+2.3%から伸びがやや鈍化した。
 - －品目別には、サービスが前年比+3.2%と前月（同+3.4%）から伸びがやや鈍化した。またエネルギーが同-4.1%と前月（同-1.9%）から下落幅が拡大した。
- 12月のユーロ圏の失業率は6.2%と、前月（6.3%）に比べて低下した。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2026年1月は速報値。
出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏失業率



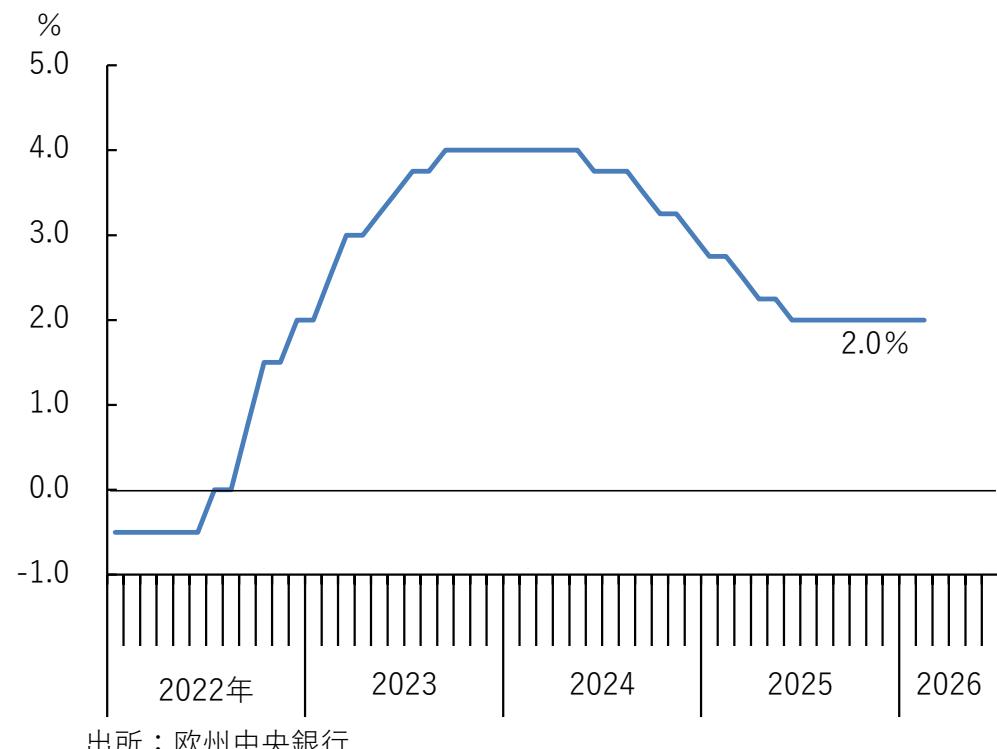
出所：欧州委員会統計局

ECBは2月の政策理事会で5会合連続の金利据え置きを決定

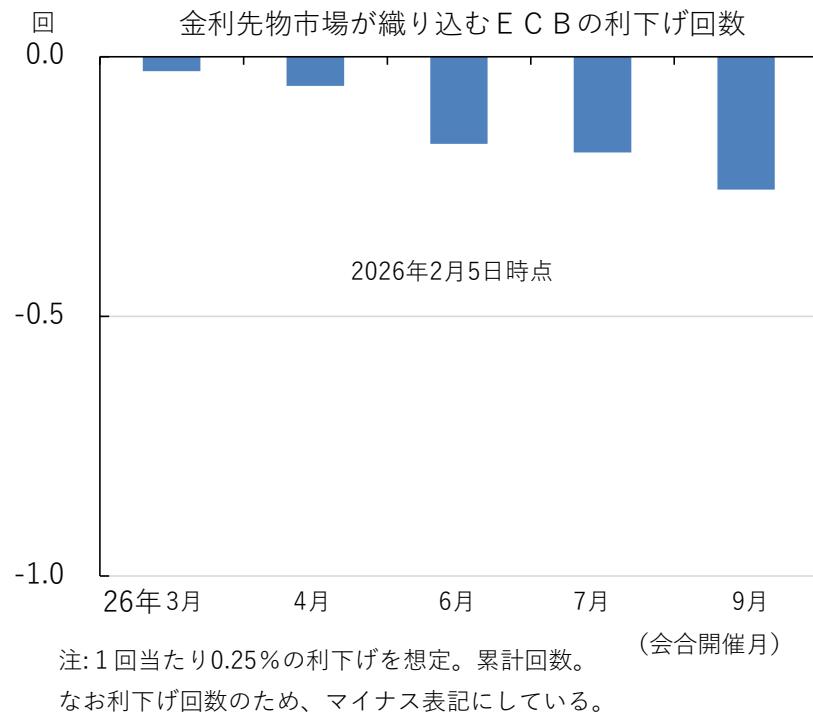


- 欧州中央銀行（ECB）は2月5日の政策理事会で、主要政策金利の中銀預金金利を2.0%に据え置くことを決定した。金利の据え置きは5会合連続。
 - ラガルドECB総裁は理事会後の記者会見で、見通しに対するリスクが上下方向で「おおむね均衡した状況にある」とし、金融政策は引き続き「良好な位置」にあると改めて強調した。
 - 金利先物市場では、ECBが当面は利下げを見送って政策金利を据え置くとの見方が優勢となっている。

欧州中央銀行の政策金利（中銀預金金利）



金融市场の利下げ予想





横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



調査部 特任研究員
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5